



越のルビーアーティスト

仲谷理沙 (ピアニスト)

福井ゆかりの音楽家

人生は選択と経験の積み重ね。
今は大学院で学びながら、
自分らしく演奏を続けています。

幼少期にピアノを始めた仲谷さん。中学3年生で進路に悩んだ時、ハーモニーホールふくいにて観たピアニスト今川裕代氏の演奏会に感銘を受け、音楽科への進学を決めました。
高校2年生で「若い芽コンサート」に出演。高校卒業後は、福井大学音楽教育サブコースへ

進みます。大学在学中には越のルビーアーティストにも選ばれました。

海外のセミナーに参加してみたいという思いが強くなり、1年間かけて渡航費用を捻出。ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学国際サマーアカデミーで、ディーナ・ヨッフエ氏に師事しました。「学びは厳しいものでしたが、世界が広がりました」と振り返ります。

その後はピアノ講師をしながらソロ演奏会や音楽グループ「Sail On」の一員としても活躍。「出張音楽堂」ではキヤスティングやプログラムも手掛けます。こうして着実に活動の幅を広げる中、転機となったのが東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター近藤薫と仲間たちとの演奏会への出演でした。

ピアニストとして参加した仲谷さんは、室内楽の奥深さに直面し、壁に突き当たりました。「このままではいけない」と危機感を抱き、2023年富山に拠点

を移し桐朋学園大学院に入学。ピアニストとしての研さんを積みながら演奏活動も継続しています。7月にはハーモニーホールふくいにて、大学の同期である高橋優介氏とコンサートを開催します。
「人生の転機に、常にハーモニーホールふくいがあります」と仲谷さん。「人生、選択肢も答えもひとつじゃない。自分のペースで演奏を続けていけば、きっと次につながると信じています」と未来を見つめます。



2023年7月21日、福井新聞社 風の森ホールにて開催された「ちょっと素敵な音楽会 Sail On サマーコンサート」終演後の様子。



2021年10月17日開催「越のルビープロジェクト 近藤 薫と仲間たち〜弦楽の調べ〜」。

■今後の活動
7月19日(金) 高橋優介氏とのデュオコンサート/ハーモニーホールふくい
7月21日(日) /おおい町里山文化交流センター ぶらっと

越のルビーアーティストとは、(公財)福井県文化振興事業団運営の「越のルビーアーティストバンク」に登録する福井県出身もしくは在住のプロの演奏家のこと。このアーティストバンクの活動に(公財)げんてんふれあい福井財団にご支援をいただいております。



公式ホームページでは「越のルビーアーティスト」の演奏動画もご覧いただけます。
<https://www.hhf.jp/artistbank/>



なかや・りさ ●福井県福井市出身。仁愛女子高等学校音楽科卒業。福井大学教育地域科学部音楽教育サブコース卒業。桐朋学園大学院大学音楽研究科演奏研究専攻在学。福井県音楽コンクール ピアノ部門 教育委員会賞受賞。平成29年ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学国際サマーアカデミーにてディーナ・ヨッフエ氏に師事。令和2年度福井県文協奨励賞受賞。